山陽小野田市立竜王中学校　学校だより

# 礼節和親

りゅうみんネット学校教育目標
誇りと志をもち、自ら学び考動し、
たくましく生き抜く児童生徒の育成

https:// sites.google.com/edu.cty-so.jp/ryuohjhs

☎　８８－０１９８

令和８年度　No13　令和８年１１月６日発行

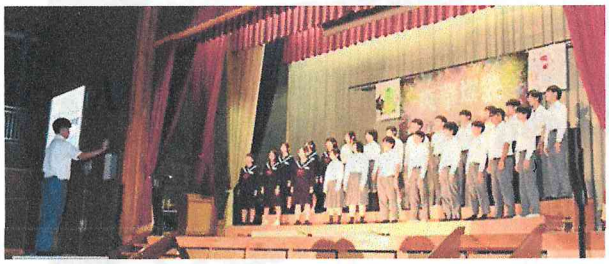
## 炎華爆裂～仲間と描く青春はいま　挑戦もいま～

体育祭同様、実行委員を中心に生徒が自分たちの手で作り上げた文化祭となりました。

合唱コンクールでは、多くの観客の前でスポットライトの光を浴びて緊張したことと思いますが、一緒に練習してきたクラスメイトを信じて、どのクラスも素晴らしいハーモニーを奏でていました。審査委員長をされた元赤崎小学校校長髙良　哲也様から「みんなが声を合わせて、気持ちを伝えようとしている姿が印象的でした。１年生はみずみずしい歌声、２年生は歌詞をよく理解した合唱、３年生は複雑な思いをしっかりと歌に込めた合唱でした。」などのお言葉をいただきました。

ゴールデングランプリは３年３組、準グランプリは３年１組が受賞し、３年生は、不二輸送機ホールで行われた市内音楽会で学校代表として参加しました。

今年も総合的な学習の時間で探究してきたことを全学年で発表しました。フィールドワークや実験等を行い、相手に伝わるようにスライドを工夫するなど、時間をかけて準備をし、本番に臨みました。３年生は理科室で実験をしたり、アリーナでカラオケ大会やクイズ大会を開催したりと、ふるさとの活性化に向けた多様な実践を披露しました。終了後は、どの学年の生徒にも大きな達成感を得た表情が見られました。



ゴールデングランプリ：３年３組
「Ｒｅｐｌａｙ」



準グランプリ：３年１組
「Ｒｅｐｌａｙ」




総合の発表　１年
「竜中校区の〇と×」



２年
「活性化プランを発表」



３年
「実践！りゅうみんパネルで記念撮影」

## ハートフルデイ～人権教育参観日・講演会～

１、３年生は各教室、２年生はサブアリーナで道徳の授業を行いました。いじめのない集団をつくるにはどうするか、自分らしく生きるにはどうするか等を考え、他者を尊重することや自分のありのままを認め個性を伸ばしていくことの大切さを学びました。



【１年生:さかなのなみだ】



【２年生:リスペクト・アザーズ】



【３年生：カラフルな世界で】

授業の後は、シドニーパラリンピック車いすマラソン日本代表の藤田英二様を講師にお迎えし、「チャレンジド・スポーツについて」という演題で、講演会を開催しました。障害に注目するのではなく、その人自身に注目すること、個性や特性、性格など一個の個人として理解すること、できることに注目することの大切さについてお話してくださいました。講演の最後に、「『チャレンジド』とは、試練を与えられてそれを克服する人たちで、それはみんなです」とメッセージをいただきました。

ボッチャのゲーム体験もあり、代表生徒が熱戦を繰り広げました。







（１）部落差別解消啓発週間（１１月１１日～１１月１７日）

１１月１１日～１１月１７日は、部落差別解消啓発週間です。

部落差別（同和問題）に対する正しい理解と認識を深め、一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現をめざしましょう。

（２）人権啓発月間（１２月）

１２月は人権啓発推進月間です。障害者差別解消推進法、ヘイトスピーチ対策法、部落差別解消推進法など、さまざまな差別解消法が施行されて、今年が１０年目となります。

県民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて、自主的な取組を進めましょう。